

今週のメニュー

■お知らせ

■トピックス

◇PVC News No. 95を発行しました

塩化ビニル環境対策協議会

■随想

◇レソト王国旅行記（1）－レソト王国ってどんな国－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

■編集後記

■ お知らせ

『ポリマーも対象の可能性－REACH規制 まずは塩ビか（12月1日化工日）』の記事は削除されました。

12月1日3面に掲載した記事『ポリマーも対象の可能性－REACH規制 まずは塩ビか』は、著しく誤解を与える内容であるために抗議をしたことを12月2日にお知らせしましたが、化学工業日報社は、同記事の内容に誤りがあったことを認め、同記事を削除することを12月17日の同紙3面に掲載していますので、ご報告します。

12月2日にお知らせしたとおり、塩ビ樹脂を規制する動きはありません。欧州規制当局等において塩ビ樹脂の安全性を疑う声はなく、欧州域内において塩ビ製品はその安定性、耐久性、リサイクル性能などの優れた環境性能、信頼性は高く評価されております。

（参考：本日掲載記事）

『おことわり 1日付け3面のREACH規則に関する記事は、内容に誤りがあったため削除します（12月17日付化学工業日報3面）』

■トピックス

◇PVC News No. 95を発行しました

塩化ビニル環境対策協議会

9月11日に塩化ビニル環境対策協議会（JPEC）は [PVC News No.95](#) を発行しました。No. 95号の構成は以下の通りです。

◎トップニュース

「PVC Design Award 2015」 受賞作品決定！

－大賞は「日立ラップ ブルータイプ」（日立化成(株)） &
「テトラサーバー」（NDP チーム）－

◎シリーズインタビュー/さきがけびとにきく

「化学って、本当は楽しくて心を豊かにしてくれるものなんです」

－世界初、3Dゲルプリンターの開発者が語る「学びの楽しみ」－
山形大学大学院 理工学研究科教授／博士（理学） 古川 英光 氏

◎リサイクルの現場から

石坂産業(株)の建設廃棄物リサイクル事業

—苦境をバネにリサイクル工場に変身。社会・地域貢献活動でも高い評価—

◎インフォメーション

「プラスチックってなあに？」開催

—学校では習わないプラスチックだけのイベント—

◎講演会レポート

JPEC・APVN・GVC 合同セミナー開く

—塩ビをめぐる海外の動向—米欧亜などの塩ビ関係者 9 人が最新情報を報告—

◎塩ビ最前線

驚異の新素材、PVC ゲル人工筋肉の可能性

—衣服感覚のアシスト・ウェア？

信州大・橋本研究室が挑む「バイオとロボットの融合」—

◎広報だより

- ・「2015 さいたま水道展」で塩ビ管の耐震性、耐久性を PR (塩化ビニル管・継手協会)
- ・PVC Next が関西 e-mon (ええもん) 展に出展
- ・「こどもとためす環境まつり」に 7 年連続で参加 (VEC)
- ・名古屋プラスチック工業展で「PVC Design Award 特別企画展示」

掲載記事をいくつかご紹介いたします。

「さきがけびとにきく」は、3D ゲルプリンターの開発について山形大学 古川先生をインタビューしました。

古川先生は、3D プリンターは最新の技術ではなく普通の技術の組み合わせであり、機械、材料、電気制御など、いろんな分野の融合技術で出来ていて、融合による価値創造が大事とのこと。そのためには新しい技術と出会える場を作り、そこで触って楽しんでもらうことがこれからは大切。そのために廃校を活用した熱中小学校プロジェクトや米沢駅で開催している「駅ファブ」などで積極的に触れてもらう機会を作っているとのこと。

「リサイクルの現場」は、テレビなどメディアで名前をよくみる石坂産業(株)取材しました。

建設廃棄物のリサイクル事業で屋内ですべての処理をする全天候型のプラント、分別がされているものについては付加価値を付けるなどリサイクル率向上など独自の取り組みを進めています。業界初の家を解体した時に出る土砂を盛土材として再資源化する新しい技術で建設廃棄物リサイクルの業界をリードしています。

「講演会レポート」は JPEC・APVN・GVC が合同で開催したセミナーを紹介しました。

アメリカ・アジア・ヨーロッパの塩ビの市場や新しい塩ビ製品の紹介。規制動向など、様々な塩ビをめぐる最新の情報が 9 人の講演者から紹介されました。来場者からは多くの質問が出され有意義な講演会になりました。

『PVCニュース』は [JPECのホームページ](#) から、最新号、バックナンバー共にご覧いただけます。

ご購読を希望される方は、[こちら](#)まで、送付先・TEL・希望部数などをご連絡下さい。

■ 随想

◇レソト王国旅行記（1）－レソト王国ってどんな国－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

ここ数年、南アフリカ共和国の周辺国を訪問していましたが、今年は、南アフリカ共和国の中にある、レソト王国にやって来ました。日本からの直行便はあるわけもなく、香港、南アフリカ共和国のヨハネスブルグで飛行機を乗り継いでやって来ました。今回、この旅行記で初めてレソト王国という国があることを知った方も多いのではないのでしょうか。

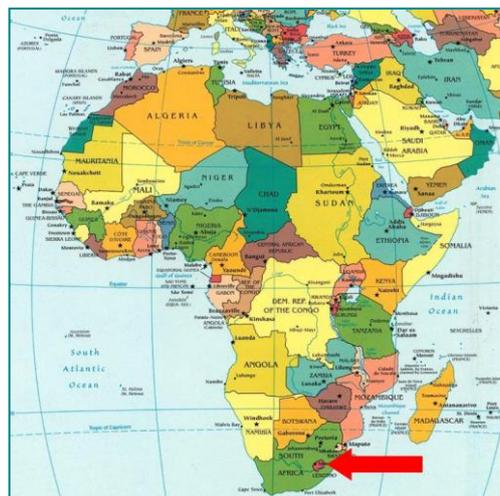


レソト王国 国旗

観光立国でもなく、鉱物資源など輸出できるようなものもほとんどなく、レソト王国で消費される農産物を作っている、農業立国です。このため、レソト王国の悩みは輸入超過による貿易不均衡。最近では、観光にも力を入れはじめ、将来は南アフリカ地域での観光立国を目指しているとか。

地理的に見ると、南アフリカ共和国の、一つの地域のように見えますが、ちゃんとした独立国です。南アフリカ共和国の中には、もう一つ、スワジランド王国という独立国がありますが、レソト王国も以前はバソランドと呼ばれる英国保護領でした。

1966年10月、イギリス連邦加盟国の一つとして独立。まだ、歴史の浅い国ですが、現在までに2回のクーデターがあり、一時は軍事政権になったり、国王が亡命したり、新たに即位した国王が交通事故死をしたりと、目まぐるしく政権が変わり、現在、国王はいるものの、政治には不介入、立憲君主制による政治体制になっていますが、2014年8月には軍事クーデターが発生し、首相は南アフリカ共和国に亡命。首相不在の状態が続いています。



[クリックで拡大](#)

レソト王国の面積は30,355平方キロメートル。九州と四国の間くらいの面積です。

標高が一番低いところで1,400メートル、一番高いところはThabana Ntlenyana（タバナントレニャナ）という山で3,482メートル（南アフリカでは一番標高が高い山です）。典型的な山岳地帯です。今回、レンタカーで移動をしていますが、50キロメートルほど走行しただけで、標高差1,200メートルほどのアップダウンを2～3回は通ることになります。主要幹線道路はアスファルト舗装がされていますが、ほとんどが山道、それもアップダウンだけでなく、山間部特有の、日光のいろは坂よりもきついヘアピンカーブの連続。山道の走行に慣れていないと、運転できないかもしれません。

ちなみに、レソト王国のレンタカー、私が調べた範囲ではありますが、オートマチック車はありません。クラッチを踏んで、ギヤを手でシフトチェンジする、マニュアル車だけです。ハンドルと走行車線は日本と同じ、右ハンドル、左車線走行です。

人口は2014年7月の調査によると1,942,008人。

首都は「Maseru（マセル）」。首都といっても高い建物はほとんどなく、日本のどこかの地方都市のような雰囲気です。さすがに首都は車も多く、渋滞なども見られますが、首都

からちょっと離れると車はまばら。山道なので、うっかり事故や故障が発生しても、通りすがりの車に発見してもらうまでにはかなりの時間が必要かもしれません。

平均寿命は 2014 年の調査によると 52.65 歳（男性 52.55 歳 女性 52.75 歳）とかなり短く、世界でも下から数えた方が早い 211 番目の低さです。確かに、老人の姿はほとんど見られません。平均初産年齢は 2009 年の調査なのでちょっと古いデータですが 21.2 歳。出産数は 2014 年の調査で 1,000 人当たり 25.92 人。死亡率は 1,000 人当たり 14.91 人で、世界でも 3 番目に高くなっています。14 歳未満の子どもは総人口の 32.9%を占めていますが、25 歳から 54 歳までの人も 36.8%を占めており、年齢構成では 2 つのピークが見られます。

HIV（エイズ）の罹患率は 2012 年の調査で 23.1%、世界第 2 位。ここレソト王国では、HIV を拡散させる強姦罪は国家反逆罪、殺人罪と同じ重罪、死刑が適用されます（実際には、1996 年以降、死刑は執行されていないとのことです）。

人口 1,000 人当たりの入院可能なベッド数は 1.3 床。国内に医学部がないので医師の養成ができず医師不足は深刻な問題となっています。当然、病院の数も少なく、難しい治療や手術を受けるには、隣国、南アフリカ共和国の病院に行くしかありません。

民族構成は、他のアフリカの国では見られないような、非常に明確な構成です。
Sotho 族：99.7%、その他：0.3%

ソト族の国というわけです。その他はヨーロッパ人、アジア人がほとんどで、他のアフリカ系人種が少ないのもこの国の特徴です。アジア人、そのほとんどが中国人。中国からの ODA で建設された建物なども数多く見られます。

単一民族ですが、イギリス領であり、現在もイギリス連邦に所属しているため、使われている言語もそれほど多くありません。

Sesotho (official) (southern Sotho), English (official), Zulu, Xhosa

宗教は、古くからいくつもの宗派のキリスト教宣教師が来ているため多くの人がキリスト教徒です。

キリスト教：80%、その他伝統的宗教：20%

レソト王国では数多くのキリスト教会やミッションが経営する学校、児童養護施設などが見られます。

それでは、レソト王国旅行記の始まりです。

(続く)

次回は、(2) ー国旗ーです。

⇒ [バックナンバー](#)

■ 編集後記

中学校のプラスチック出前授業では、日本の誇れるプラスチックの事例のひとつとして、人工衛星に使われるポリイミドの話題を盛り込んでいます。年末の「あかつき」の金星周回軌道への投入の快挙ニュースは、来年以降もより身近な事例として子どもたちに紹介できるものと思っています。

今週号が 2015 年最後のメールマガジンとなりました。今年も多くの方々にご愛読いただきましてありがとうございました。1 年があっという間に過ぎてしまった感じです。といいながらも、少し気が早いですが、来年も良いお年をお迎えください。(HI)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 高橋 満

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp
